

北部ダム統合管理事務所 大保ダム管理支所

TEL 0980-53-6511 FAX 0980-52-6566
http://www.dc.ogb.go.jp/toukan/
※ダム管理及び広報誌に対する、ご意見・ご要望は、上記の連絡先までお願いします。



水質調査等の目的を学ぶ (水質検討会)

11月29日(水)に『平成29年度北部ダム統合管理事務所水質検討会』を開催しました。

水質検討会は、各ダムの経年的な水質挙動や貯水池の水質特性を理解して、日々の管理に役立てるとともに、最新のダム水質状況の情報共有と水質調査データの品質確保のための情報交換の場とすることを目的としているものです。

今回も水質アドバイザーとしてダム管理フォローアップ委員の盛下先生をお招きして、各ダムの水質状況について今後の管理の上で参考となる有意なアドバイスを頂きました。また、盛下先生からは、水質調査の目的や植物プランクトン調査の重要性、また調査結果の評価とその活用等についてご講演をいただきました。

今後もこのような水質検討会を継続して実施し、各ダムの担当者が貯水池水質管理を行う上での技術力の向上を図っていきたくと考えております。



水質検討会の様子



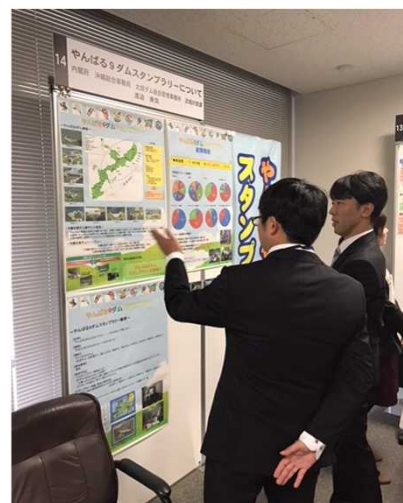
「やんばる9ダムスタンプラリー」を紹介(国土交通省 国土技術研究会)

11月13日・14日の両日、国土交通省において「国土交通省 国土技術研究会」が開催されました。国土研究発表会は、住宅・社会資本整備に関する技術の向上と行政への反映を図ること目的として毎年開催されています。

今年は北部ダム統合管理事務所から、流域対策課の渡邊係長がポスターセッション部門に参加し、「やんばる9ダムスタンプラリーについて」説明を行いました。

結果は、今回は残念ながら入賞を逃しましたが、研究会は全国から参加した発表者の様々な発表や技術展示などがあり、有意義な研究会となりました。

北部ダム統合管理事務所では、今後とも様々な機会を通じて技術向上を目指して行きたいと思っております。



発表を行う渡邊係長(背面)

オイルフェンス訓練を実施

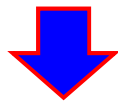
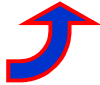
北部ダム統合管理事務所では、水質に影響を与えるオイルがダム湖へ流入したとの想定で、湖面へのオイル拡散を最小限に抑えることを目的に、3ダムにおいて「オイルフェンス設置訓練」を実施しました。

<大保ダム(14日(火))、金武ダム(16日(木))、辺野喜ダム(30日(木))>

訓練では、オイルの湖面へ流入したとの情報を得た後に、保管場所からオイルフェンスを移動させ(①)、分割されたフェンスの接続(②)、ダム湖面へ投入、巡視船での曳航(③)、オイルの流入箇所への設置(固定)(④)までを行いました。

フェンス設置は、限られた人員での対応となるため、今後とも、オイルの流入に際しスムーズな設置が行えるよう、年に数回のオイルフェンス設置訓練を実施していくこととしています。また、訓練で得られた課題についても、改善を行っていくこととしています。

～～～ 設置訓練の流れ ～～～ (金武ダムの例)



羽地ダムで職場体験(羽地中学校)を実施

羽地ダム管理支所において、11月20日(月)～24日(金)(23日の勤労感謝の日を除く。)、名護市立羽地中学校2年生の3名が職場体験の一環としてダム管理を体験しました。

体験では、まず最初に北部ダム統合管理事務所、羽地ダム管理支所の組織、仕事内容を学んで頂いた後、ダム施設の役割や維持管理等の概要説明を受け、実際の現場で、土木・電気・機械の点検、巡視船でのダム湖面の巡視、ダム監査廊内での漏水観測などを体験してもらいました。また、最終日には、災害時の現場映像、音声を実タイムに送受信する通信機器(Ku-satⅡ:衛星小型画像伝送装置)の設置訓練にも職員と一緒に参加してもらいました。

生徒たちからは、4日間の職場体験を通して、「湖面巡視は楽しかった。」「漏水観測する時の堤体内の階段がきつかった。」「ダムの役割を改めて知った」などの感想がありました。

今回の職場体験が3名の生徒たちの学習に活かされるとともに、ダムへの関心を持つきっかけになることを願っています。



施設点検



漏水観測



湖面巡視



ku-satⅡ設置訓練

放送大学沖縄学習センターが見学(大保ダム・福地ダム)

放送大学沖縄学習センターによる大保ダム・福地ダムの見学が、11月22日(水)午前中に行われました。

総勢23名の参加者があり、最初は大保ダムを見学しました。大保ダムでは、資料館にて東浜支所長が大保ダムの概要等を説明した後に、監査廊の右岸入り口部まで案内しましたが、時間の都合により階段で降りることは断念しました。

次に福地ダムへ移動し、資料館にて三田美支所長により福地ダムの概要、沖縄県内の湧水の歴史等の説明をパネルを使って行い、昼休みまで食い込む状況となりました。

参加者からは、「来て良かった。」「水の大切さをあらためて考えさせられた。」との感想がありました。

北部ダム統合管理事務所では、見学等の受け入れを行っていますので、あなたも各ダムを訪れていかがでしょうか。



監査廊での説明
(大保ダム)



資料室にて
(福地ダム)

ダムの歳時記

大保ダムでは、脇ダム下流に湿地を復元しており、多様なトンボ類がみられます。

タイリクショウジョウトンボは、いわゆる「赤とんぼ」といわれるトンボの中で最も赤くなる種類の1つであり、雄は成熟すると顔も含めた全身が鮮やかな赤色になります。大保ダムでは、12月でも復元した湿地を飛んでいます。

オキナワチョウトンボも多数生息しています。別名は「ベッコウチョウトンボ」と呼ばれ、翅(はね)には橙黄色と黒褐色が複雑に混じり、宝石のベッコウのような模様を描いています。また、名前のお通り、蝶のようにヒラヒラと飛んでいます。大保ダムでは、春から秋の終わりまで見ることが出来ます。

皆さんも、大保ダムへ出かけ、トンボ観察をしてみませんか。



タイリクショウジョウトンボ



オキナワチョウトンボ

平成29年12月1日現在 国ダム(9ダム)貯水率 72.7%(前年同日の貯水率: 83.2%)

★今月(12月)の行事予定について

当事務所の今月の予定は、次の表のとおりです。

予定時期	担当	行事名称	内容
6日(水)	防災専門官	地震対応訓練	地震発生時における連絡体制、点検項目の確認
7日(木)	福地支所	新川ダム定期検査	3年毎に実施されるダム施設等の定期検査
上旬	総務課	公務員倫理に関する支所点検	倫理法に基づき対応内容の確認
12日(火) 20日(水)	防災情報課	KU-SAT II 設置訓練	災害時等における衛星通信機器の設置訓練
13日(水)	管理課、支所	施設調査(辺野喜、普久川、安波)	ダム管理施設を事務所全体で点検・確認を行う。
19日(火)	総務課	北部地区「入札談合等関与行為防止法研修会」	入札談合等の違反行為を防止するための研修会
21日(木)	管理課、支所	施設調査(新川、福地)	ダム管理施設を事務所全体で点検・確認を行う。
25日(月)	管理課、支所	施設調査(大保、羽地)	ダム管理施設を事務所全体で点検・確認を行う。
27日(水)	管理課、支所	施設調査(金武、漢那)	ダム管理施設を事務所全体で点検・確認を行う。

★湖水友の会メール会員募集中★(無料・特典満載)

湖水友の会は、会員の皆様にダム管理に関する情報及び各種イベントの案内等を行い、ダム管理業務に対する一般者の理解を深めること及び水源地域の活性化を目的としています。

会員特典

- ①広報誌を毎月配信
 - ②ダムツアーにご招待
 - ③カヌー一体にご招待
 - ④イベント会員枠確保
 - ⑤会員専用駐車場確保
- ※②～⑤は希望者多数の場合、抽選となります。



入会の条件は、18歳以上の希望者とし、申し込みは下記メールアドレスへ

①住所、②氏名、③年齢を送信するだけです。

詳しくは、北部ダム統合管理事務所 流域対策課 調査係 TEL:0980-53-2442

申し込みアドレス: hdtten910@ogb.cao.go.jp

現在会員数
416名